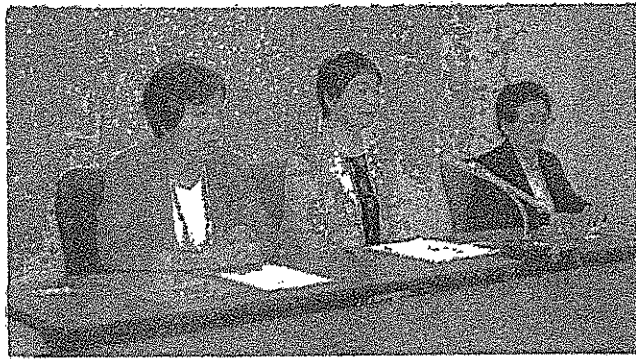


9/5
五三

女性議員有志26氏が声明

栃木 今国会での成立に反対



記者会見する(左から)野村、山田、平木の各県議=4日、宇都宮市

栃木県内の女性地方議員有志26氏が4日、「安全保障関連法案」(戦争法案)の今国会での成立に反対する声明を発表しました。日本共産党の野村せつ子県議と民主党の山田みやこ、平木ちさこ両県議が同日、県庁記者クラブで会見し、明らかになりました。

声明は、3県議と小山市の青木美智子市議員(市民派21)が呼びかけ人となり、県地方議会女性議員連盟所属の議員らを中心に募りました。自民党市議を含む市議15人、町議7人が賛同しました。

「とりわけ、私たち女性には、戦争で再び愛する子どもや家族を失うような日本にはしてはなりません」と記し、今国会での成立に反対すると表明しています。

人が人を殺す社会にしない

埼玉・ふじみ野で集会

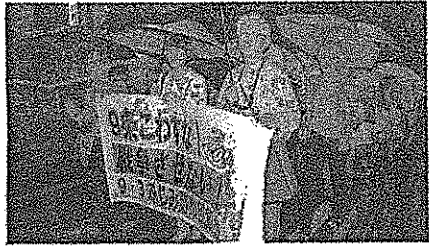
戦争法案の強行採決を許さず、廃案に追い込もうと3日、埼玉県ふじみ野市で「9条を守る会」の熊田雄二牧師や高校生、戦争体験者のスピーチに真剣に耳を傾けました。通行人が立ち止まって、訴えを聞く姿も見られました。

声明は、この法案が、憲法9条を壊し、自衛隊が海外で他国の軍隊と一緒に武力行使するものだと指摘し、「2つの自衛隊基地がある栃木県民として看過できない」と主張した。

雨降り始める中、東武東上線土福岡駅西口ココネ広場に集まった人たちは、上福岡教会の熊田雄二牧師や高校生、戦争体験者のスピーチに真剣に耳を傾けました。通行人が立ち止まって、訴えを聞く姿も見られました。

草の根から戦争法案ノー

県内の学生・高校生らでつくる「VIP埼玉ふじみ野市



雨の中「戦争法案絶対廃案」と声を上げて歩く参加者=3日、埼玉県ふじみ野市

「玉」の山森要さん、高校3年生は「こんな法案をつくるんじゃない」と訴え、日本や世界の貧困や差別に苦しむ人のために動くことが平和への道だと思えます。自分が生きている社会を、人が人を殺すような社会にしたいくない」と訴えました。

日本共産党の梅村さえこ、民主党の小宮山泰子の両衆院議員がいます。梅村氏は「8月30日に行われた12万人国会包囲行動など、世論と運動が安倍政権を追い込んでいます。審議が何度も中断しているポロポロの戦争法案は、廃案にしましょう」と呼びかけました。

共産党の前原かつえ県議と市議団、無所属の市議も参加しました。